

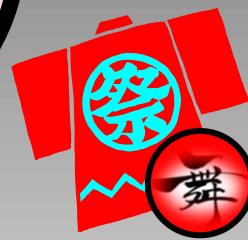
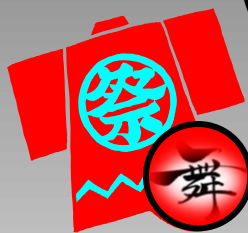
【エイサー】沖縄県でお盆の時期に踊られる伝統芸能。この時期に現世に戻ってくる祖先の霊を送迎するため、若者たちが歌に合わせながら踊り、地区の道を踊り歩く。お盆の時期以外にもさまざまな祭りなどでメインイベントとして踊られる。



【太鼓エイサー】

・旗頭・太鼓打ち（テークウチ）・手踊り（ティモーイ）・地謡（ジカダ）・京太郎、三郎（チョンダラー、サナジャー、サンダー、サンラー）

沖縄伝統芸能
太鼓エイサー



【使用される音楽】

- ・繁盛節（はんじゅうぶし）
- ・仲順流り（ちゅんじゅんながり）
- ・久高マンジュウ主（くだかまんじゅうしゅー）
- ・スーリ東節（すーりあがりぶし）
- ・テンヨー節
- ・いちゅび小節（いちゅびぐわあぶし）
- ・豊節（ゆたかぶし）
- ・花の風車（かじまやー）
- ・唐船ドーイ（とうしんどーい）

【踊り】

・太鼓エイサーの主体は太鼓と踊りである。全体的にややテンポが速い。太鼓伴奏の場合は、ゆるいテンポと速いテンポの曲を交互に歌う。地謡の演奏に合わせて太鼓を叩く際に、数十人の太鼓踊り（身体をひねる、しゃがむ、飛ぶ、回転する）といった動きの統一感、一斉の躍動といった勇壮さが、見る人を魅了する。見ても踊っても楽しくなるのがエイサーの大きな魅力の一つとなっている。

